



北、韓国に砲撃

兵士14人が死傷

黄海の島に着弾 戦闘機を緊急出動 家屋炎上70軒か

韓国



北朝鮮からの砲撃を受け煙を上げる韓国の延坪島＝23日午後(聯合＝共同)



【ソウル共同】韓国国防省などによると、北朝鮮の朝鮮人民軍が23日午後2時半(日本時間同)すぎ、韓国が黄海上の軍事境界線と位置付ける北方限界線(NLL)に向け陸上から砲撃、韓国軍も応戦し、砲撃戦となった。北朝鮮側の砲弾の一部はNLL付近に位置する韓国側の延坪島に落下、島の家屋多数が炎上した。韓国軍兵士14人が死亡、韓国のKBSテレビは韓国側の死傷者が数十人に上ると報じた。韓国側は戦

闘機を緊急出動させ、警戒水準を最高度に引き上げた。韓国の李明博大統領は「断固対応し、状況を悪化させないため万全を期すよう」指示した。

黄海の南北境界水域では南北艦艇の銃撃戦が3度起きていたが、民間人被害を伴う陸地への砲撃は1953年の朝鮮戦争休戦以来初めて。3月下旬の韓国海軍哨戒艦沈没に続き韓国側が強く反発、南北の緊張が再び高まるのは必至。韓国軍は23日、黄海で定例の軍事訓練を行っており、北朝鮮がこれに対抗したとの見方が出ている。

韓国軍は北朝鮮の砲撃で、死者1人を含め韓国軍兵士14人が死傷したことを明らかにした。炎上家屋は60〜70軒との報道もある。